

熊本大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)理学専攻化学コース  
熊本大学大学院自然科学研究科(博士後期課程)理学専攻化学講座  
学位論文審査基準

**Evaluation Criteria for Theses in Department of Chemistry,  
Field of Science, Graduate School of Science and Technology**

学位審査に当たっては、学位申請者が本学及び大学院自然科学研究科理学専攻化学講座の定める学位授与の方針を満たしていることを前提とする。また、学位申請者が学術研究における倫理性を有していることを条件とする。

As a prior condition to apply for a diploma, a candidate must satisfy all the requirements for the degree that are specified by the university and the Department of Chemistry, Field of Science, Graduate School of Science and Technology. A candidate is required to conduct his/her scientific research in accordance with ethical standards.

博士前期課程 学位論文審査基準

**Evaluation Criteria for Master's Thesis**

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に一定の新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must include the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

**博士後期課程 学位論文審査基準**

**Evaluation Criteria for Doctoral Thesis**

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must consist of the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

## 熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻化学講座 「学位授与の方針」

### 博士前期課程

#### 1. 学位授与の要件

当該課程の標準修業年限2年以上在学し、所定の単位（必修18単位、選択13単位、合計31単位以上）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および口頭試問に合格すること。

学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて本研究科教授会の審議によって最終判定される。

なお、在学期間について、優れた研究業績をあげた者には、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

#### 2. 修得すべき知識・能力

##### 1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

・物質の構造、性質、および環境動態を分子レベルで解析および理解することができ、研究目的に応じて新規物質を創製することができる高度な化学の専門知識と実験技術を修得している。

##### 2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・化学の周辺学問分野における鍵物質を理解し、その機能を合理的に解析・設計・創出できる能力を有している。
3. **グローバルな視野と行動力**
    - ・国際学会やシンポジウムに積極的に参加し、情報収集する行動力を身に付けている。
    - ・海外の研究者や学生と積極的に交流を行い、国際的なネットワークを構築する行動力を身に付けている。
    - ・他の研究者の研究成果を国際的な視点から正当に評価し、世界最先端の研究レベルや課題を理解できる英語力を有している。
  4. **地域社会を牽引するリーダー力**
    - ・地域社会を取り巻く様々な環境や教育事情の変化に柔軟に対応できる幅広く深い基礎知識とその応用力を有している。
    - ・研究成果を論理的に説明することができるプレゼンテーション能力を修得している。

## 博士後期課程

### 1. 学位授与の要件

当該課程の標準修業年限3年以上在学し、所定の単位（必修4単位、選択8単位、合計12単位以上）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および口頭試問に合格すること。また、博士論文の内容を査読付き国際学術誌に1編以上公表、もしくは掲載が決定していること。

学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その結果を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。

なお、在学期間について、優れた研究業績をあげた者には、修業年限特例を適用することがある。

### 2. 修得すべき知識・能力

#### 1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

未知の科学現象や法則を化学的に解明し、化学の基礎およびそれらの応用分野の構築と次世代に向けて必要とされる物質科学領域の発展に貢献し得る高度な研究能力を修得している。

#### 2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・専門分野における既成概念のみにとらわれず、様々な学問を横断した論理的思考や実験技術を修得している。
- ・自然や社会環境に調和した物質科学の発展に貢献できる広い学問的視野を有している。

#### 3. グローバルな視野と行動力

- ・研究成果を国際学会または国際学術誌上にて英語で発信できる英語力とその国際的な評価を基により高度な研究を遂行できる能力を有している。
- ・国際社会における環境問題を理解し、グローバルな視点で自然に調和した物質科学を進展させる能力を有している。

#### 4. 地域社会を牽引するリーダー力

地域社会の教育や産業の諸問題に対して科学的に解決策を提示することができ、それを実行する説得力と行動力を有している。このために、化学の非専門家に対して

も課題やその解決策を平易に説明することができるプレゼンテーション能力を有している。これにより、地域社会の教育や産業の発展に率先して資することができる。